3 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

●使用圧力

①瞬間式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力(注)… (水栓の最低必要圧力)＋0.03MPa(流動圧)
最高圧力 … 0.75MPa(静水圧)

(注)水栓の最低必要圧力については、水栓の施工説明書をご覧ください。

②貯湯式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力 … 0.05MPa
最高圧力 … 0.75MPa

ただし、下記水栓については最低必要圧力が異なりますので注意してください。

●整流・ソフト切替式のハンドシャワー水栓 … 0.08MPa以上(静水圧)
●一時止水機能付きのハンドシャワー水栓 … 0.10MPa以上(静水圧)

●やけど防止や配管保護のため、**給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるように**してください。

●給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。

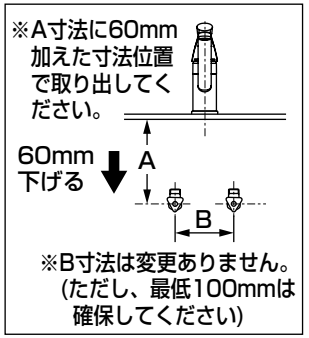
2. 給湯温度の確認

●誤動作などによるやけど防止のため、**60℃給湯**をおすすめします。

3.給水・給湯取出位置について

●水栓のみの取出位置より**約60mm下げて**取り出してください。
駆動部を取り付けることにより、水栓の給水管(またはホース)の接続が上がり、場合によっては取り付けできないことがあります。
(床給水の場合、止水栓取付位置を約60mm下げてください)
水栓の取出位置については水栓の施工説明書をご覧ください。

●既設配管に取り付ける場合、フレキホース(別売:TNY98LRX50など)で水栓の給水・給湯ホースが折れ曲がらないように配管してください。



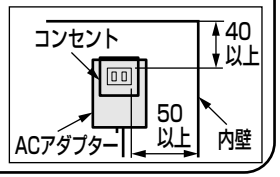
4. 配管・配線について

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

●乾電池タイプは電源工事不要です。

●AC100Vタイプの場合、**電源はAC100V(50/60Hz)**です。
また、ACアダプターがコンセントより大きい場合がありますので、キャビネットの内壁にぶつからない位置にコンセントを取り付けてください。



5.その他

●リモコンとの通信には微弱な電波を使用しているため、オールステンレスのキッチンには使用できません。

●リモコンおよびコントローラーは金属面に取り付けないでください。
電波の受信ができず、動作しない原因となります。

●コントローラーや駆動部、ACアダプター、コード類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。
コード類の断線や故障の原因となります。

●リモコンの取付位置により、腕やひざ、足での操作を選択できます。

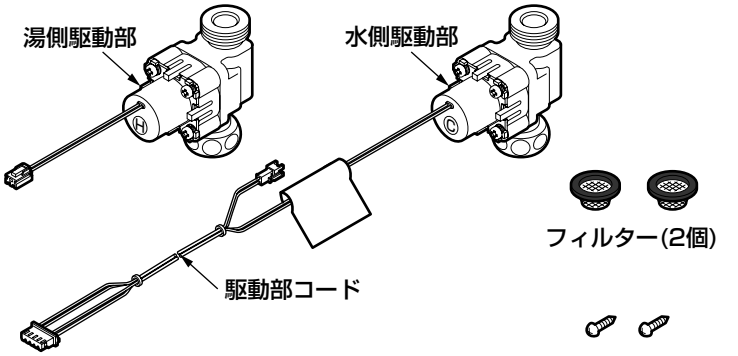
●食器洗浄機などで連続給水が必要な場合は、給水管を駆動部の前(上流側)から分岐してください。
自動止水機能により、食器洗浄の途中で断水することがあります。
自動止水タイマーの初期設定は「10分」です。
給水管を水栓または水栓と駆動部の間から分岐する場合は、タイマーの設定を「8時間」に切り替えてご使用ください。切替方法は「取扱説明書」をご覧ください。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

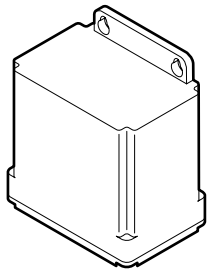
次の部品があることを確認してください。

駆動部・コントローラー

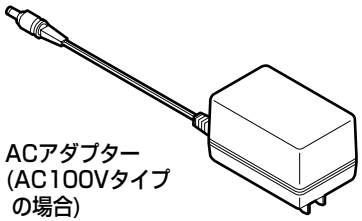


フィルター(2個)

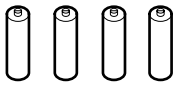
コントローラー用
取付ねじ(2本)



コントローラー



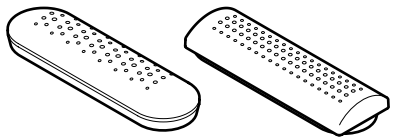
ACアダプター
(AC100Vタイプ
の場合)



アルカリ乾電池
(単3×4本)
(乾電池タイプの場合)

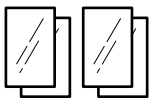
リモコン

TES33型　TES34型



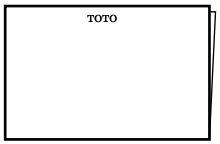
リモコン

リチウム電池
(CR2032×1個)



固定用補助フィルム
(4枚)

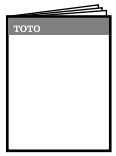
その他



施工説明書

コードクランプ
(3個)

必ずお客様にお渡しください

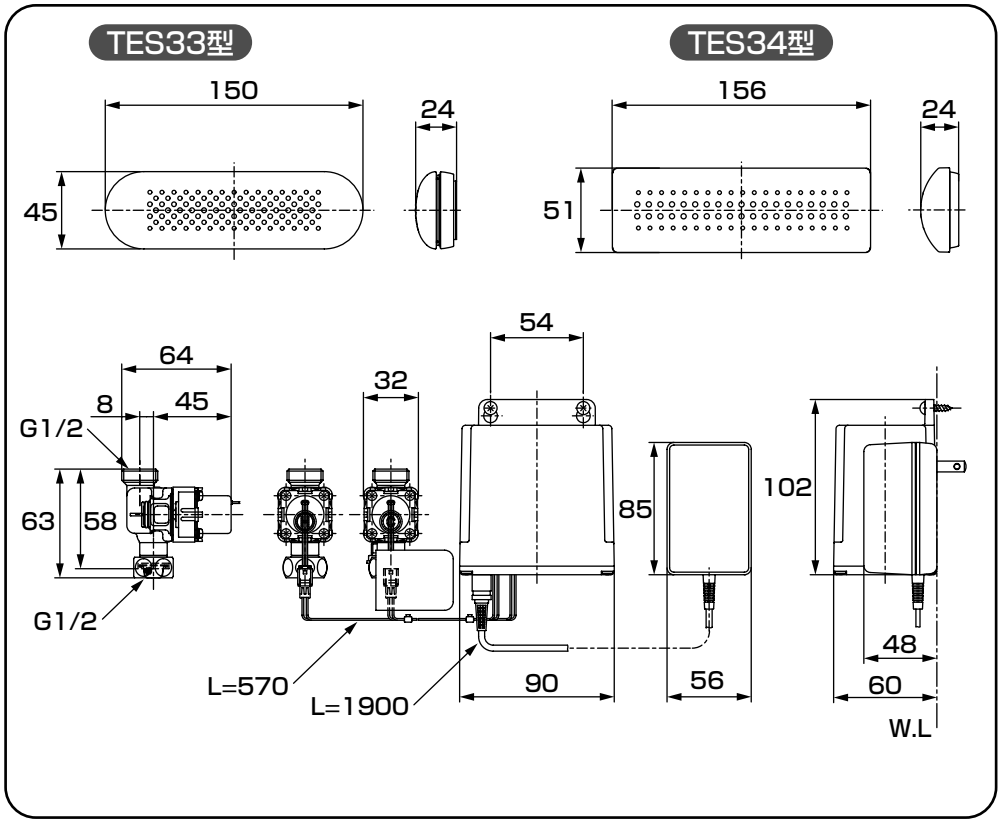


取扱説明書

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 各部の寸法

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



裏面へつづく